

福島工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	経済産業論	
科目基礎情報							
科目番号	0023			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	ビジネスコミュニケーション学専攻 (ビジネスコミュニケーション学コース)			対象学年	専2		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	産業組織論、新庄浩二、有斐閣ブックス,プリント資料他						
担当教員	芥川 一則						
到達目標							
①経済動向における企業の行動を過去の事例から理解する。 ②企業の論理的な行動について理解する。 ③現実の問題の分析能力を身につける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 経済動向における企業の行動を過去の事例から理解する。	各授業項目の内容を理解し、応用できる。			各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
評価項目2 企業の論理的な行動について理解する。	各授業項目の内容を理解し、応用できる。			各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
評価項目3 現実の問題の分析能力を身につける。	各授業項目の内容を理解し、応用できる。			各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (A) 学習・教育到達度目標 (B) 学習・教育到達度目標 (C)							
教育方法等							
概要	企業を取り巻く経済状況は、日々変化している。企業の行動と経済の動向を分けて分析すると企業への外部要因が見えにくくなる。そこで経済動向における企業活動について講義する。						
授業の進め方・方法	期末試験は100分の試験を実施する。 定期試験の成績を80%、課題を20%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。 この科目は学修単位科目のため、事前、事後学習の確認として定期的に授業内容を整理しまとめたものを提出させる。						
注意点	自学自習の確認方法－課題プリントを学生に配布し、それを定期的に提出させる。 定期試験の成績を80%、課題を20%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	はじめに		導入と授業の進め方		
		2週	企業の理論		企業の本質、組織、行動原理		
		3週	競争と独占		完全競争モデル、独占モデル		
		4週	寡占		独占と完全競争の間		
		5週	日本の産業構造		市場支配と市場集中度		
		6週	製品差別化		差別化の方法		
		7週	参入と戦略的行動		参入障壁と戦略的行動		
		8週	強調行動		寡占的価格行動		
	2ndQ	9週	市場成果		利潤率と資源配分効率		
		10週	多角化・合併		多角化と日本の産業組織		
		11週	研究開発とイノベーション		技術革新と研究開発		
		12週	産業集積と中小企業		日本の産業集積の現状と課題		
		13週	独占禁止政策		独占禁止政策の歴史		
		14週	直接規制政策		公的規制の定義と規制の根拠		
		15週	総合復習		専門用語の確認		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験			課題		合計	
総合評価割合	80			20		100	
基礎的能力	40			10		50	
専門的能力	20			5		25	
分野横断的能力	20			5		25	